

# **第49期（2026年3月期） 第3四半期決算補足資料**



## **アズマハウス株式会社**

2026年2月13日

# 会社概要

会社名	アズマハウス株式会社		
英訳名	AZUMA HOUSE Co., Ltd.		
設立	1977年（昭和52年）5月2日		
代表者	代表取締役社長 東 行男		
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号		
従業員数	201名（連結287名）		
資本金	5億9,676万円		
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）		
株主数	3,497名（2025年9月30日現在）	発行済株式数	8,063,400株（2025年9月30日現在）
単元株数	100株	基準日	3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業		
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、 こうこく不動産株式会社、アズマファイナンシャルサービス株式会社		



# 社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第49期（2026年3月期）第3四半期（2025年10月1日から2025年12月31日）の業績は、前年同期と比較して減収減益となりました。なお、2025年5月15日に公表いたしました第49期（2026年3月期）通期の業績予想を下方修正させていただきました。

当社グループは、第49期（2026年3月期）通期業績予想につきまして、受注状況と引渡し状況を検証し、業績予想を修正しておりませんでしたが、当連結会計期間の業績状況および現状において入手可能な情報に基づき検討をしたところ、通期業績予想を達成することができないと判断し、下方修正を行うことといたしました。受注状況および在庫状況を勘案し、修正後の予想については、概ね計画通りに推移しております。また、今後は収益構造を健全化するため、財務体質の強化を図り、安定的な成長を目指してまいります。

不動産・建設事業においては、在庫リスクの低減を図り、仕入れの厳選化し、抑制することで早期に販売可能な物件等の確保を推進しております。また、許認可の遅れ等による工事スケジュールの遅れにより、販売時期にも遅れが生じました。それに加えて、建築費および造成工事費の高騰、住宅ローン金利の上昇および実質賃金の低下などにより、消費マインドに悪影響を与え、受注が低下することとなりました。その結果、今期の売上物件が少くなりセグメント売上およびセグメント利益につきましては、予算を下回る結果となりました。しかしながら、更なる原価の見直しと高付加価値住宅の提案および保証内容の見直しを行い、受注残および受注残金額は前年を上回る結果となりました。派生事業の販売強化および更なる原価管理、工程管理を徹底し、お客様サービスの向上を実践し、下方修正後の予算達成を目指してまいります。

不動産賃貸事業においては、アイワグループとの事業間シナジー効果を活かし、安定した入居率の確保と徹底した賃貸管理業務へのこだわりを追求し、オーナー様のご期待に副えるようなサービスをご提供してまいりました。また、入居者様の募集につきましても、一人ひとりのお客様に向かい合い、ご安心していただける物件情報のご提供により、加盟するエイブルネットワークにおいて仲介契約件数5年連続全国第1位の店舗として表彰していただきました。その結果、セグメント売上につきましては予算を上回る結果となりましたが、セグメント利益につきましては予算を下回る結果となりました。空室期間や物件状況も含めて、更なる収益力アップの方法を検討してまいります。

資産活用事業においては、アパートローン金利の上昇や資材原価の高騰による利回りへの影響が賃貸経営に不安を抱き、購買意欲に歯止めをかける状況となりましたが、不動産賃貸事業とのシナジー効果により、高い入居率を確保し、不安要素の解消を図りましたが、セグメント売上およびセグメント利益につきましては、予算を下回る結果となりました。引き続き、多様な情報チャネルを活用し、セグメント間シナジー効果やワンストップでの事業展開のメリットを活かし、資産活用の提案ができるよう努めてまいります。

ホテル事業においては、インバウンドの取込みや国内旅行者も堅調に推移しておりますが、稼働率につきましては前年と比べると微減しております。飲食店舗につきましては、来客数は前年とほぼ同等まで回復いたしましたが、材料費原価や物価の高騰が継続しております。その結果、セグメント売上については、少し上回る結果となりましたがセグメント利益につきましては、下回る結果となりました。品質を維持・向上しながら、様々なお客様サービスをご提供し、新規のお客様の獲得とリピーターとなっていただき、来客数および稼働率の向上に努めてまいります。

今後は家主業をメインに賃貸料を更に増やしながら、新築、中古、土地の販売、リフォーム、特建の請負、資産活用、ホテル事業の多様化を今まで以上に強化してまいります。

私たちは、すべての住環境に安心と安全を確保し、お客様一人ひとりと地域社会の発展を企業理念として真摯に取り組んでおります。また、「セキュリティアクション2つ星」（自己宣言）を宣言し、情報管理やITセキュリティの強化にも取り組んでおります。お客様に愛され選び続けられる企業を目指し、お客様満足度の向上に努めてまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



アズマハウスは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

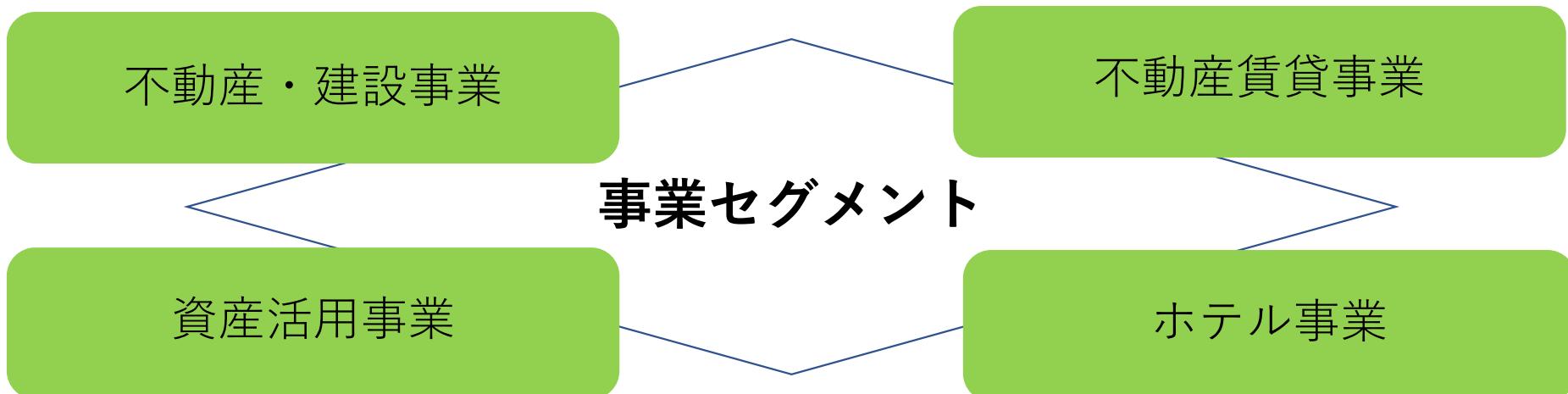
# 事業概要

## ～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

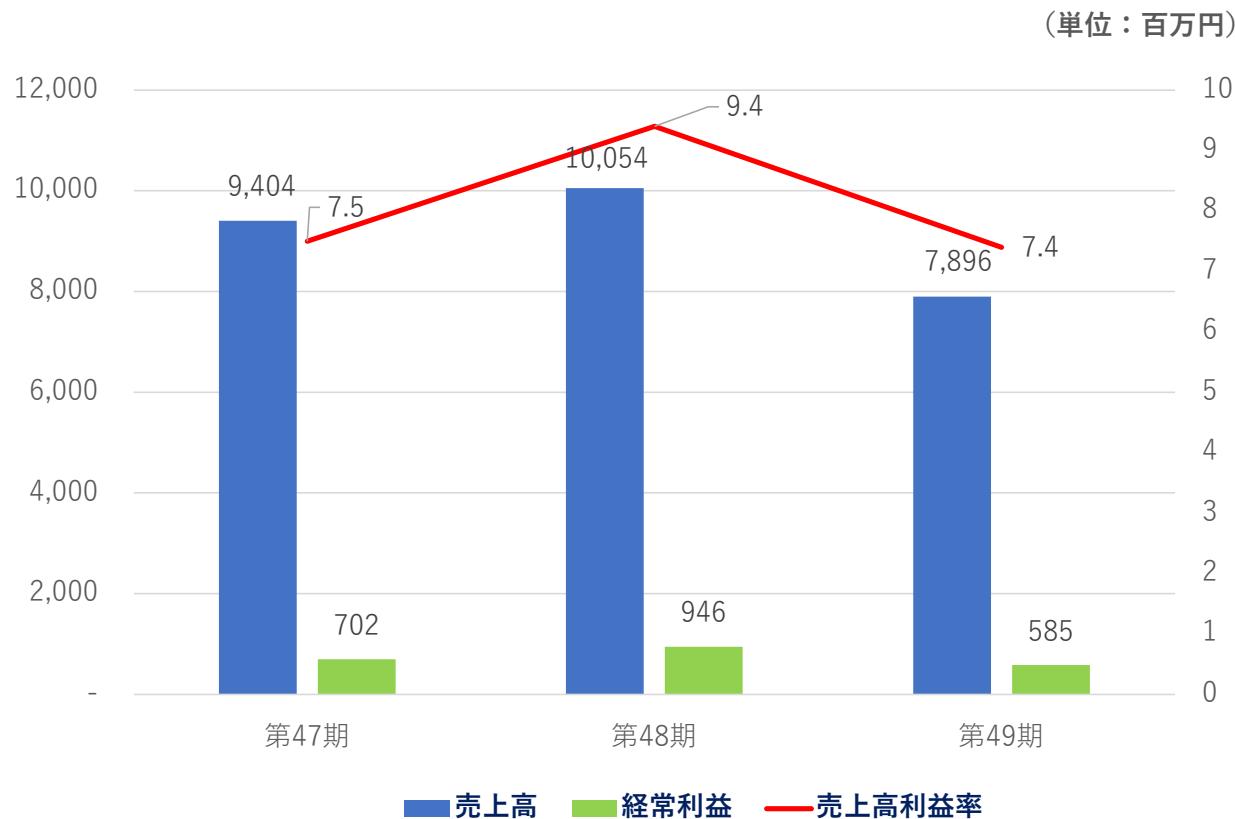
## ～サステナビリティ基本方針～

「人も環境も健康に」



# 連結決算（サマリー）

## 売上高・経常利益・売上高利益率の推移



第49期売上目標 11,430百万円  
(第3Q : 7,896百万円)

第49期経常利益目標 900百万円  
(第3Q : 585百万円)

売上高 7,896百万円  
(予算比100.0%)

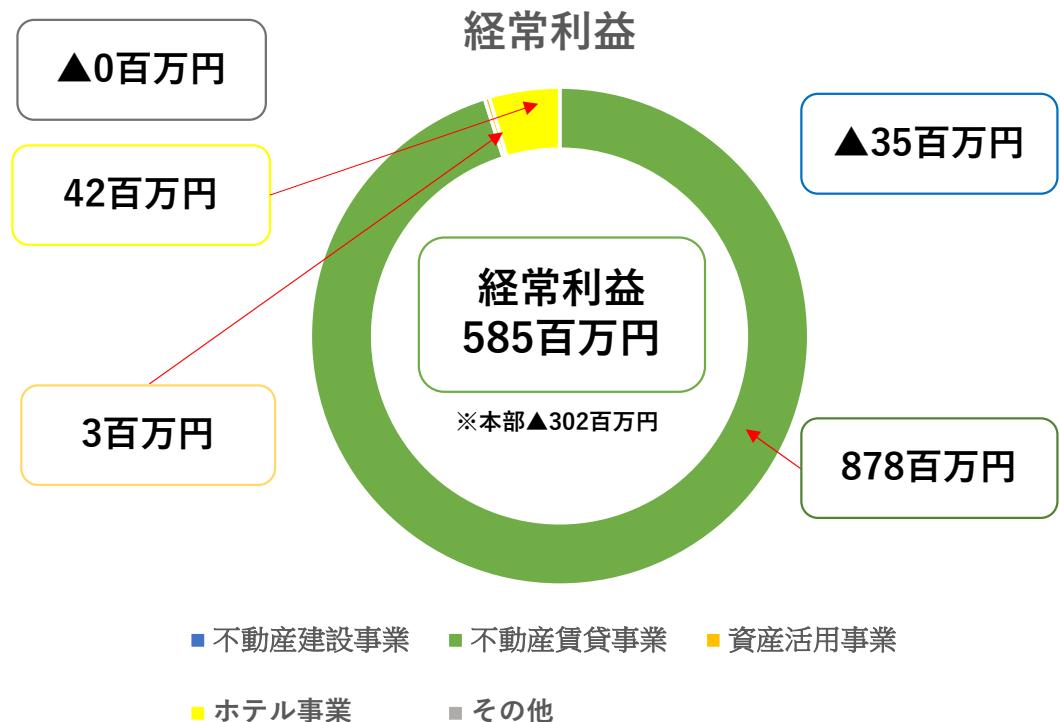
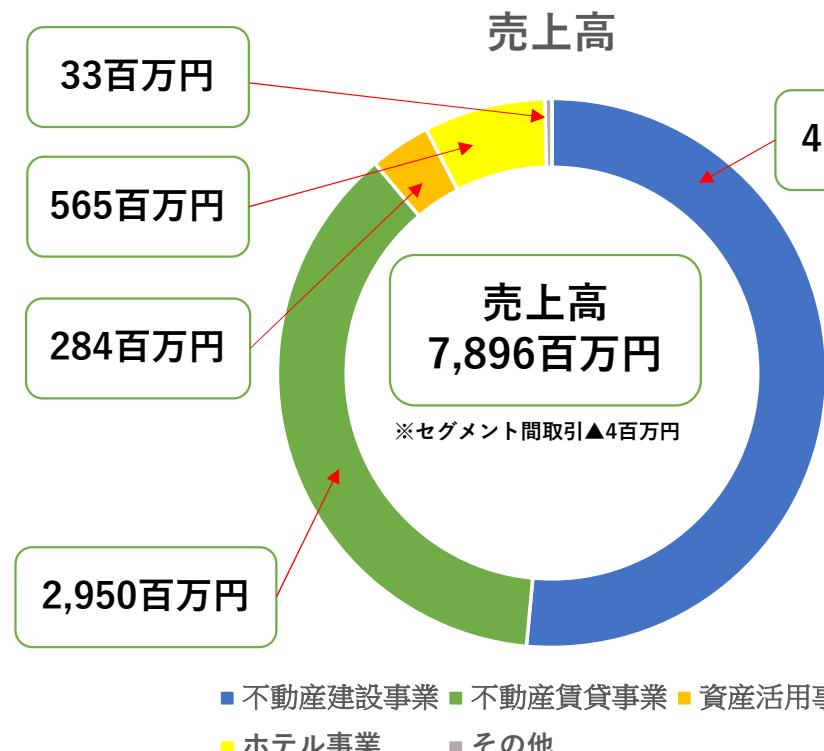
経常利益 585百万円  
(予算比100.0%)

売上高利益率  
7.4%  
(目標8.0%)

※2026年2月13日付で業績予想を修正いたしました。

# 連結決算（セグメント比）

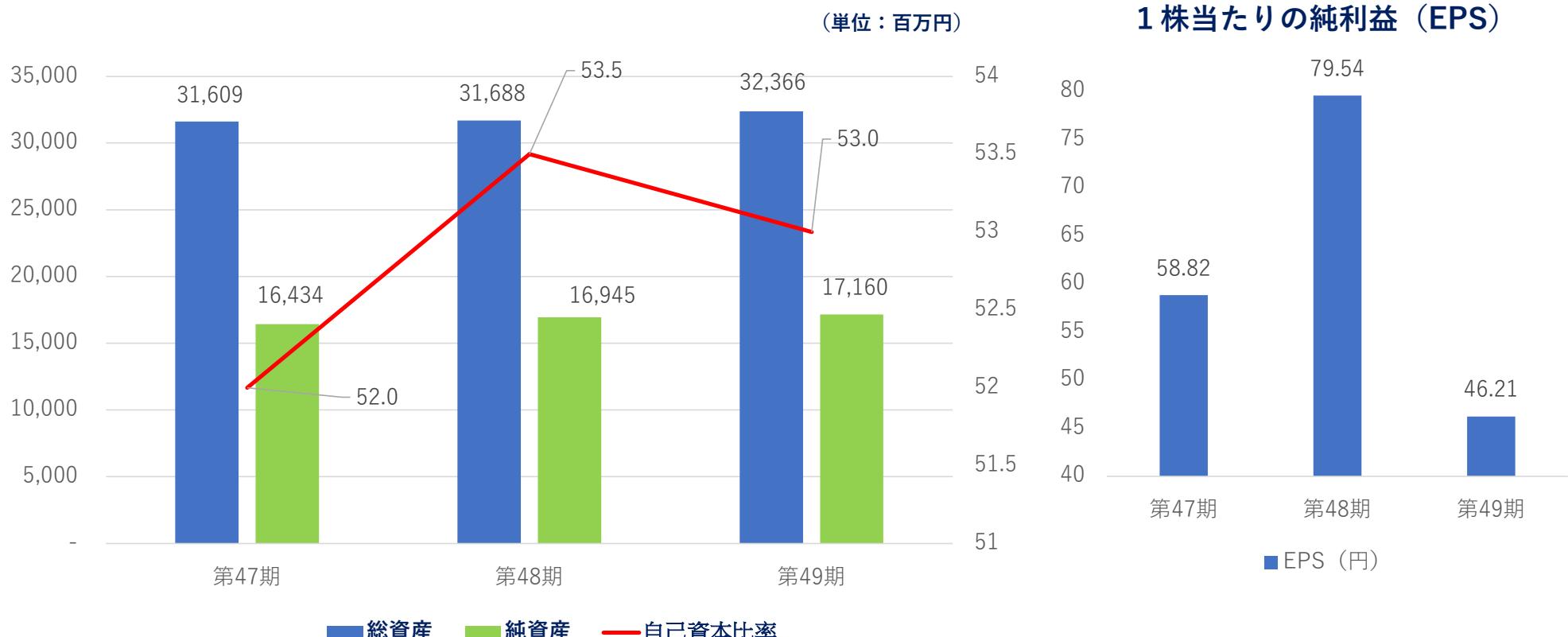
※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。



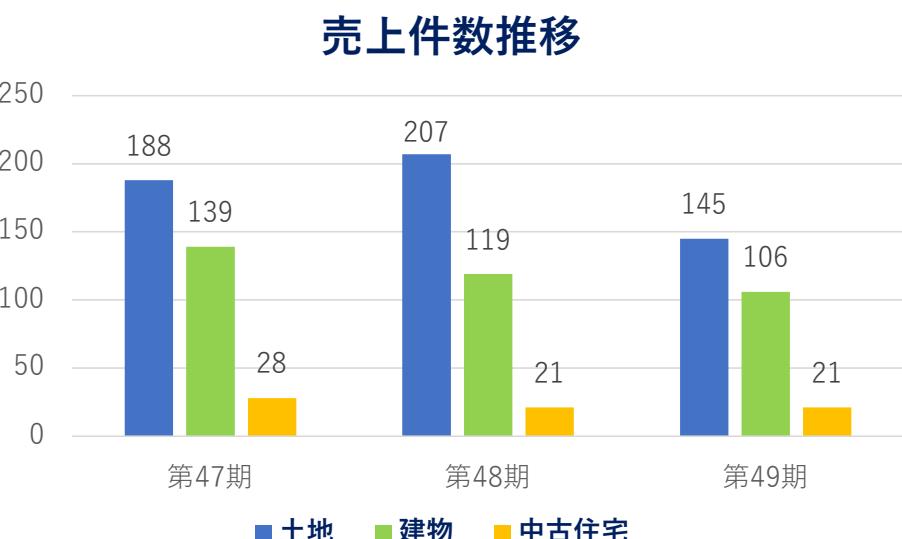
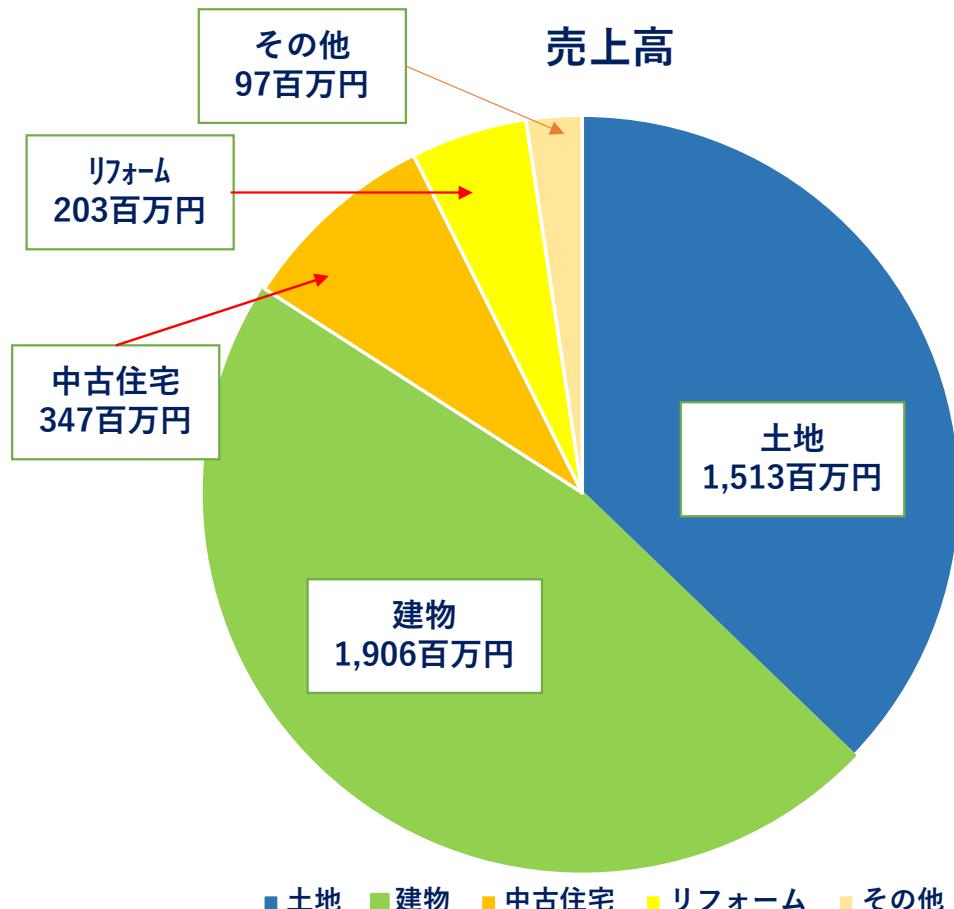
※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

# 連結決算（サマリー）

## 総資産・純資産・自己資本比率の推移



# セグメント別実績（不動産・建設事業）

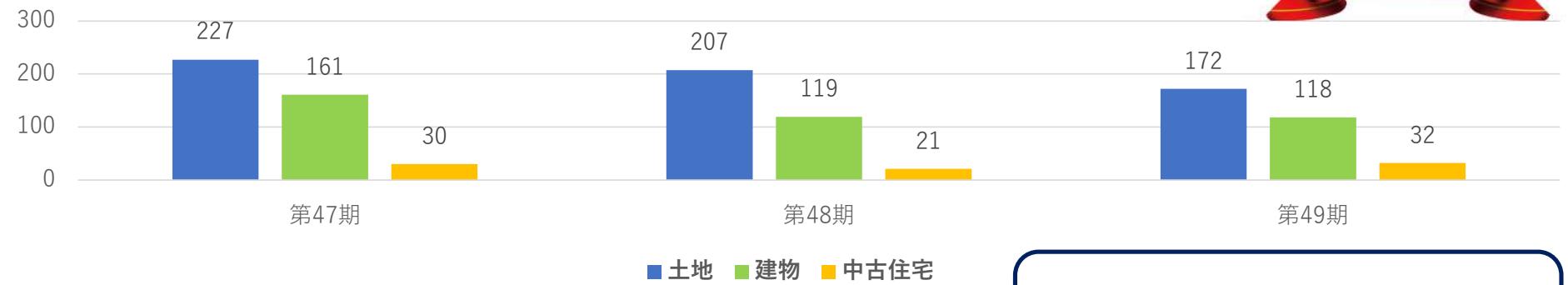


# セグメント別実績（不動産・建設事業）

## 受注件数・受注残件数推移



### 受注件数の推移



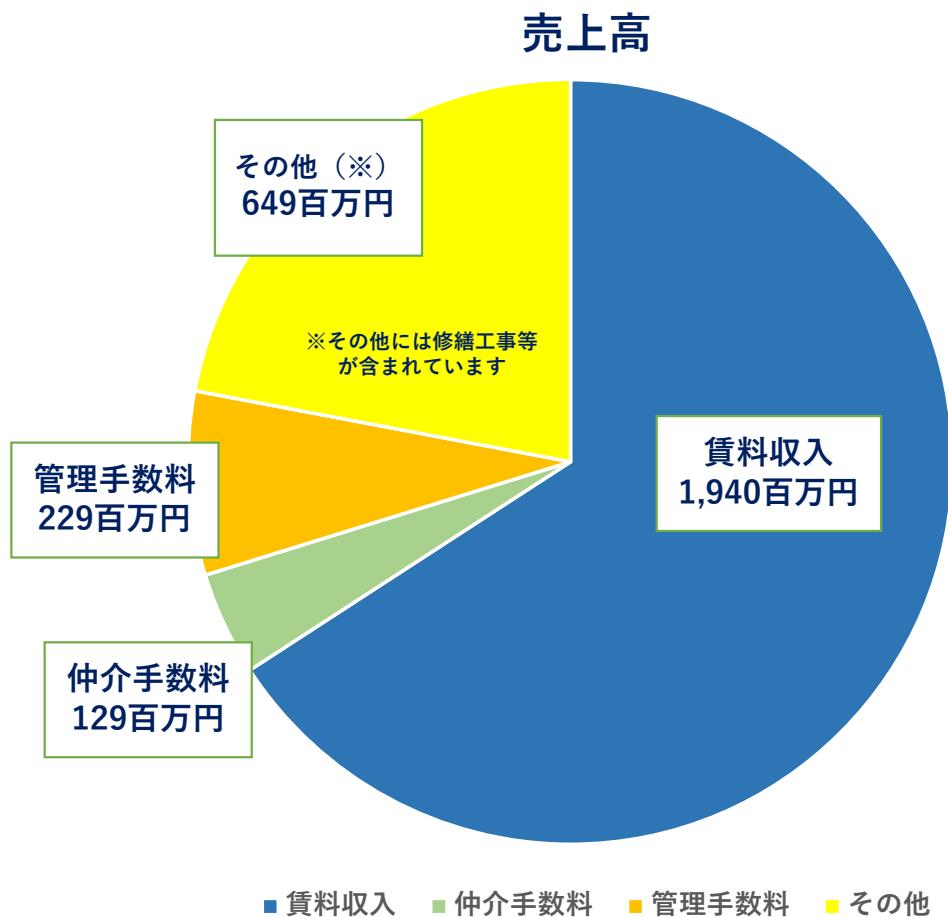
受注残額は、前年比132.16%

### 受注残件数の推移



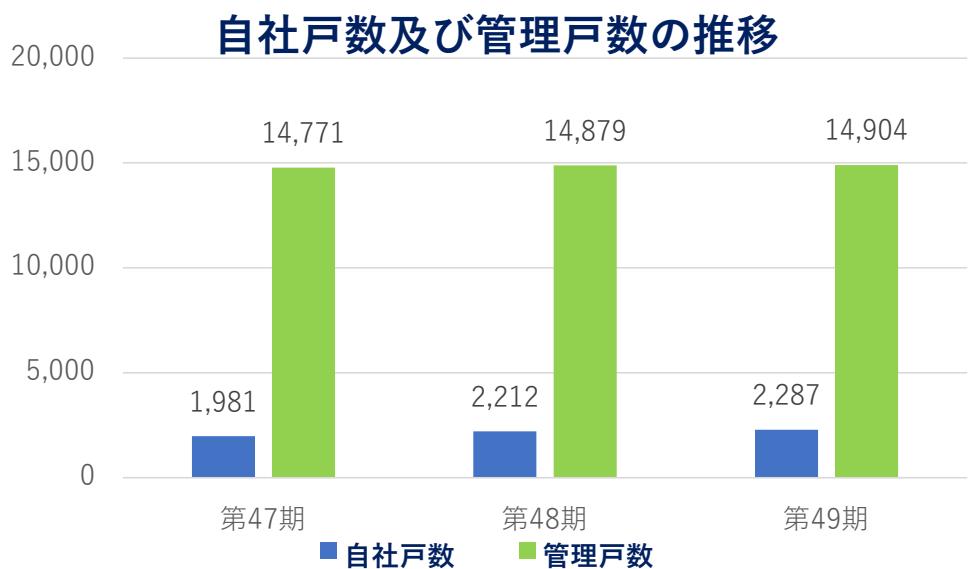
# セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率 95.24%



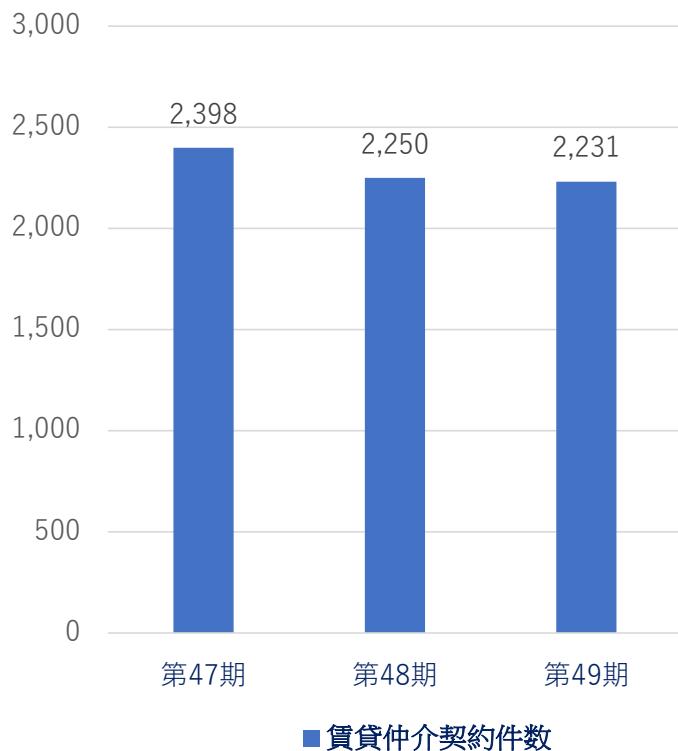
セグメント売上高 2,950百万円  
(第3Q:2,950百万円)  
(前年同期比103.0%：予算比100.0%)

セグメント利益 878百万円  
(第3Q : 878百万円)  
(前年同期比102.9%：予算比100.0%)



# セグメント別実績（不動産賃貸事業）

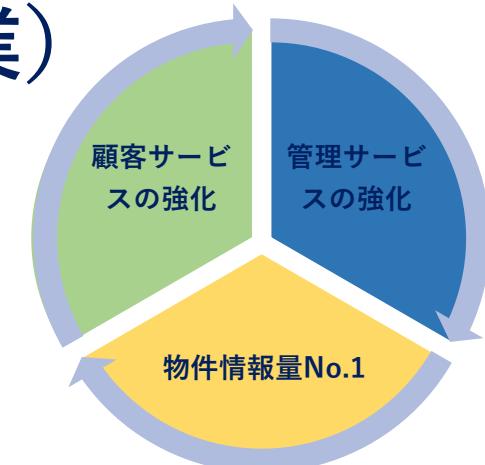
## 賃貸仲介契約件数の推移



管理物件入居率  
85.00%

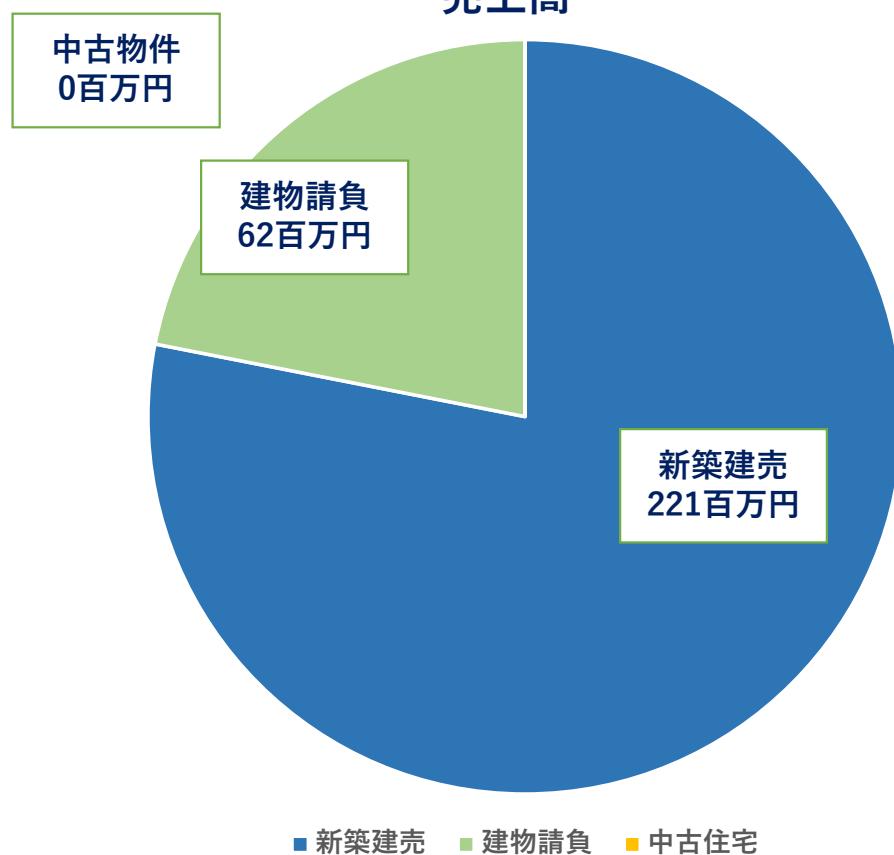
### Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医疗学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）



# セグメント別実績（資産活用事業）

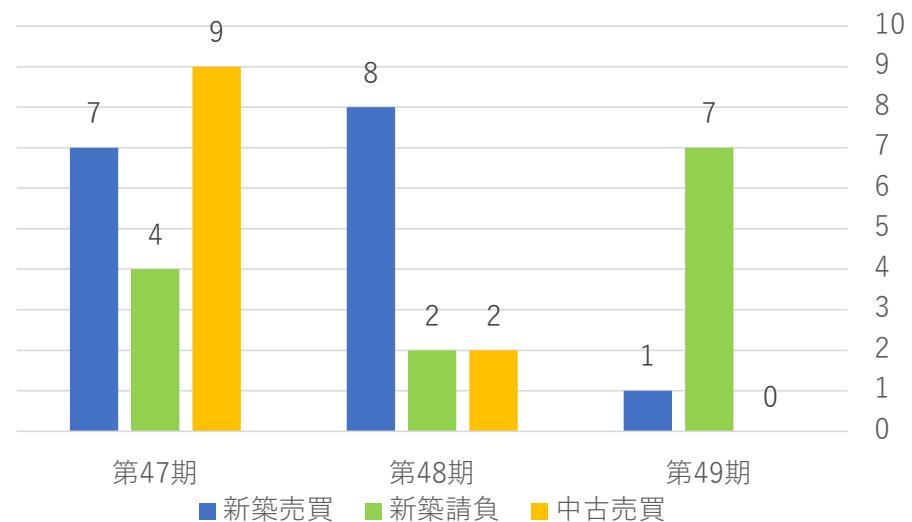
## 売上高・売上件数



セグメント売上高 284百万円  
(第3Q：284百万円)  
(前年同期比52.3%：予算比100.0%)

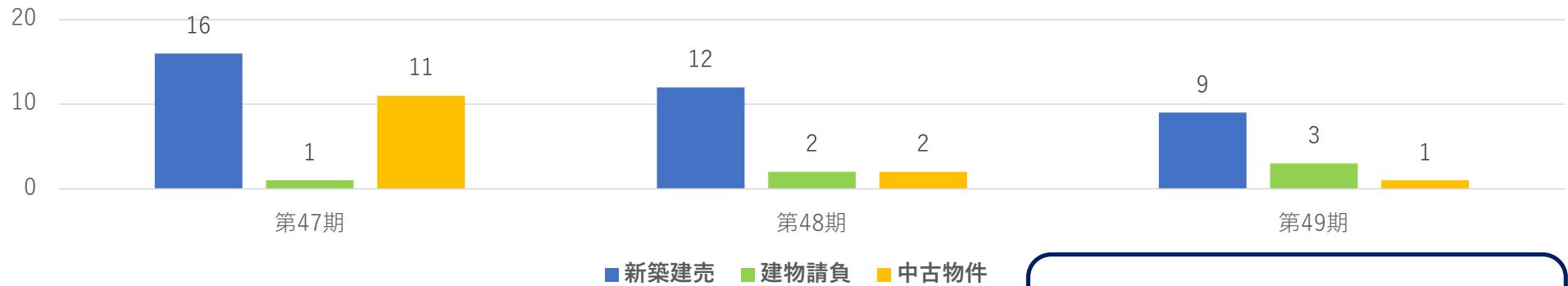
セグメント利益 3百万円  
(第3Q：3百万円)  
(前年同期比7.9%：予算比100.0%)

## 売上件数推移



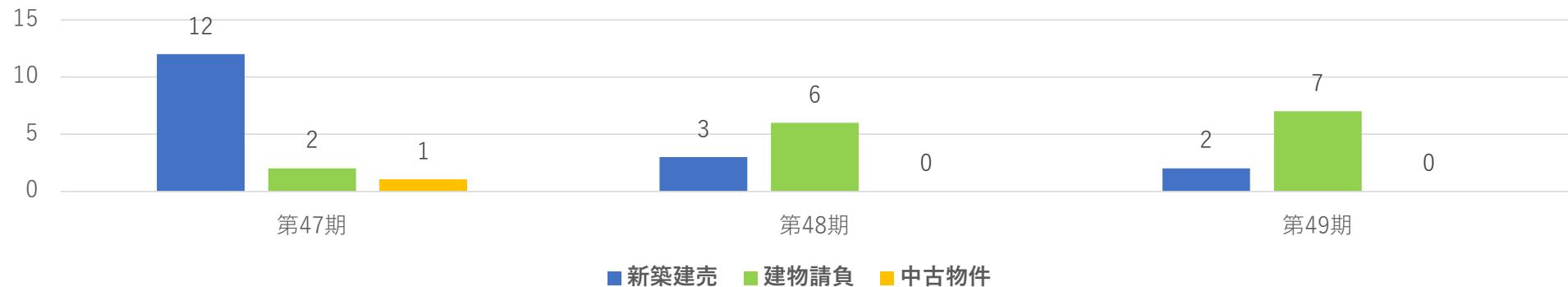
# セグメント別実績（資産活用事業）

## 受注件数の推移

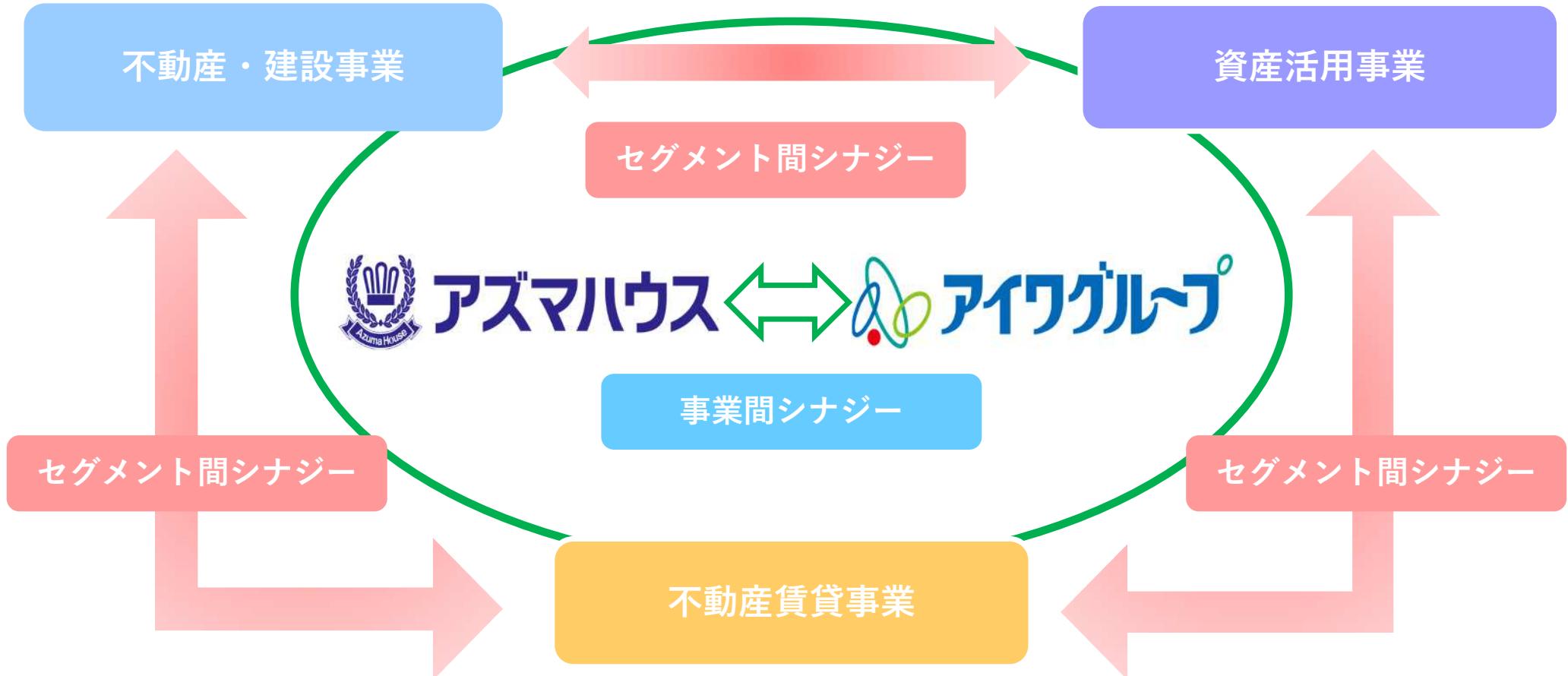


受注残額は、前年比78.92%

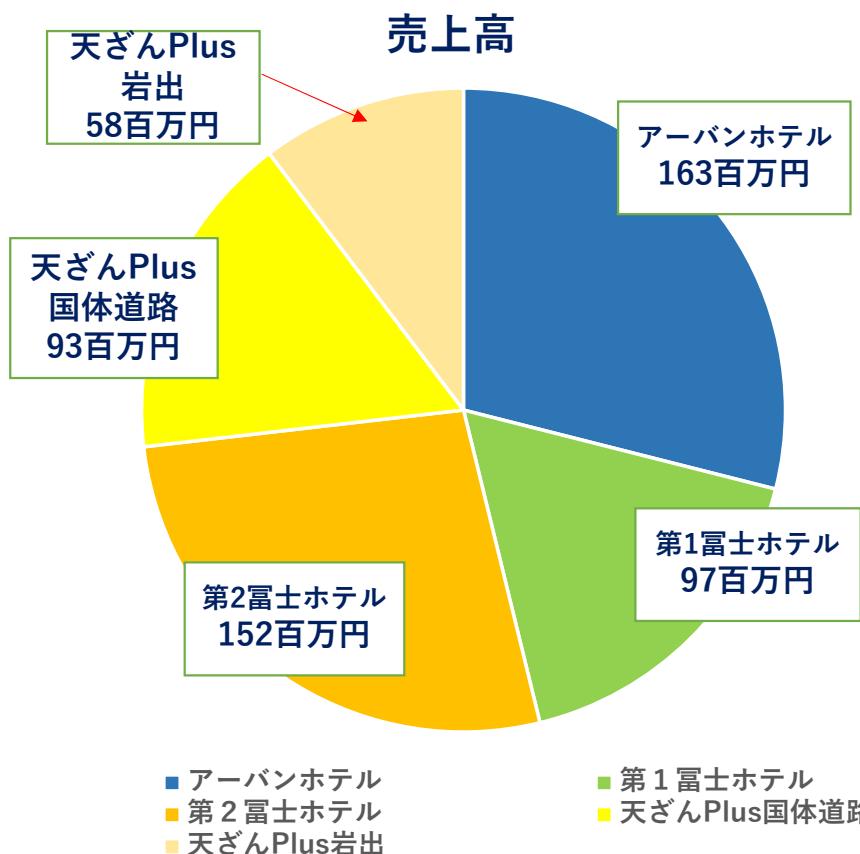
## 受注残件数の推移



# セグメント間シナジー



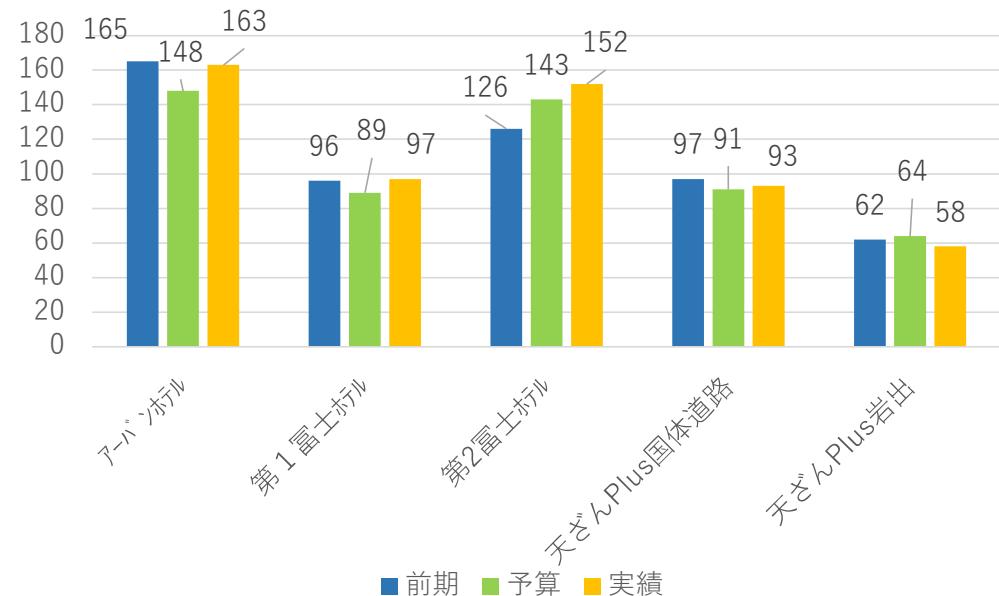
# セグメント別実績（ホテル事業）



セグメント売上高 565百万円  
(第3Q：565百万円)  
(前年同期比103.0%：予算比100.0%)

セグメント利益 42百万円  
(第3Q：42百万円)  
(前年同期比55.8%：予算比100.0%)

前年同期・予算比較 (単位：百万円)





ESG



マテリアリティ

取組テーマ

取組内容

SDGs



住み続けられるまちづくり  
住環境の向上

リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献

中古住宅再生事業、ストック事業の推進



地域社会への貢献

地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献



こども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、「アルテリーヴォ和歌山」プラチナスポンサー、「ONELYS wakayama」オフィシャルパートナー、「和歌山ジャズマラソン」協賛、「和歌山城クリテリウム2025」の協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト(BWSC2025)の協賛、「和歌山ではたらく車大集合！」メインスポンサー、日本赤十字社の活動支援、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームディ・アット・ザ・ズー2025inアドベンチャーワールドの協賛、パートナーシップ構築宣言、第49回全国育樹祭わかやまへの協賛



人権

ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み



「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2025（中小規模法人）」の認定、「あいサポート企業」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、セキュリティアクション2つ星（自己宣言）、コーポレートガバナンス、コンプライアンス



## 記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ  
アズマハウス株式会社 経営企画部  
電話 073-475-1018  
E-Mail : [ir\\_kanri@azumahouse.jp](mailto:ir_kanri@azumahouse.jp)  
URL : <https://azumahouse.com>